



NOBEOKA
ART EXHIBITION



市 75th
美展

全国から集うアートの輪



入賞・入選
目 録



特選 延岡市長賞

望郷恋母（字目の唄げんかより）（日本画）

外山範雄

講評

外山範雄さんの「望郷恋母」(字目の唄げんかより)は郷土に伝わる子守唄を題材に人物の動きや表情を丹念に描き上げ歌が聞こえてきそうなレベルの高い作品です。



準特選 宮崎県知事賞



Ant room(油彩)
雉子谷佳宏

講評

雉子谷佳宏さんの「Ant room」はどこの風景だろうか？何気ない田園風景を抑えた色調で俯瞰して描き、空中にしているような錯覚を覚えさせる描写力のある作品になっています。手前の描き込みを工夫してほしい。

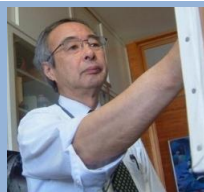
準特選 延岡市教育長賞



狭間 I (油彩)
杉野祐一

講評

杉野祐一さんの「狭間」は中央部分に人物を周りには植物を組み合わせ描いた構成力の高い力作である。落ち着いた色彩で描かれているが、明度差がもう少しあっても良いのではないだろうか。



絵画部門審査員

橋本 俊雄 （初）
二紀会委員、宮日美術展無鑑査

入賞作品

無鑑査

協賛賞 高山好二 刻を止めた発電所(水彩)
旭化成(株) 延岡支社長賞

八木隆幸 まるの詩(クレパス・クレヨン)

協賛賞 甲斐那智 追憶のひと時(アクリル)
宮崎日日新聞社賞

坂元紀雄 相一 見つめる刻(油彩)

協賛賞 伊集院正 風の鳴る樹(墨・アクリル・鉛筆)
延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞

米良俊男 時空(アクリル)

協賛賞 神崎勝久 一視線(油彩)
センコー(株) 延岡支店長賞

野村幸枝 これからも手足揃えていきましょうか
(その2) (油彩)
(第6回みやざき総合美術展 準特選)

協賛賞 はっとり神兵 ドライ・フラワー(油彩)
延岡市美展運営委員長賞

協賛賞 長沼弘三郎 久遠の夕風一疏黄島(油彩)
延岡市美展運営委員長賞

奨励賞 市原哲郎 希望(水彩)

奨励賞 窪田利重 朝焼けの入り江(油彩)

◆ 入選者

横山優	二人の婆さんと二人の孫で餅つき	油彩
佐多光夫	雨上りの日之影川	水墨画
佐藤義和	生きる(土々呂漁港)	水彩
大山久雄	網に集うハンターたち	油彩
富山照海	恋人の丘	クレパス
川内寧彦	凜として立つ	水彩
河野敏展	小さな駅ですれちがうスーパーマリオ号と特急にちりん	アクリル
アーナー恵子	母体記憶	アクリル
甲斐トシ子	想	アクリル
秋本智子	あふれる光と、想いと…	水彩
戸高節子	陽のあたる部屋	パステル
甲斐美登	皐月の頃	油彩
宮井久美子	大観峰の朝	水彩
三谷文男	細島	油彩
田中千代子	春の名残	パステル
岩村怜依	テンとリュウ	日本画
眞田昌良	カルデラの息吹(鍋ヶ滝)	水彩
伊東光明	城山神楽まつり(七番荒神)	油彩
原浪代	屋久島の森	アクリル
南義信	フィヨルド(北欧・初夏)	パステル
杉野節代	ふたり眠る	アクリル

吉田千代子	赤い花	水彩
園田博一	青の静物-2026-夏	油彩
安藤和美	かさなる心	水彩
日高さやか	ヒエラルキー	水彩
斉藤弘子	光る君と	水彩
久保ケイ子	春の風	油彩
上山晴久	水鏡(延岡港)	油彩
木村マシ子	春の譜	油彩
佐藤京子	春霞	水彩
白石幸代	「いのり」黒いマリア像inモンセラート	油彩
高橋博和	GONDIA is land	油彩

彫刻・工芸部門



特 選

延岡市長賞

糸と針で布を彩る刺しゅうの世界(刺繍)

戸塚薫

講 評

普通に見る刺繍とは特段に異質なオリジナリティ、技術、繊細さを感じました。衣服などに施す刺繍とは異なり鑑賞作品として完全に独立した表現となっております。

準特選

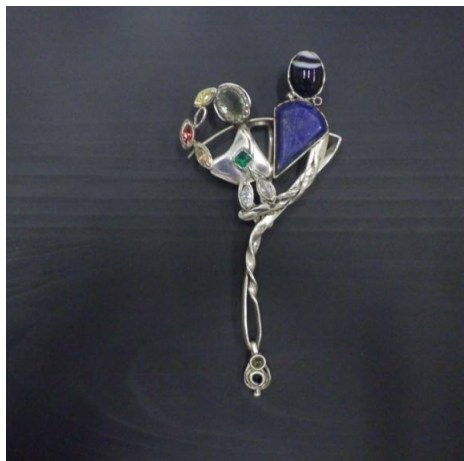
延岡市教育長賞

母子(彫金)

中野小百合

講 評

シルバー(銀)部材を蝋付けし、石をはめ込んだジュエリーです。確かな素材選別と加工技術が目を引きました。実際に身に付けて楽しめる秀逸な作品です。



準特選

延岡市文化連盟会長賞

だれから咲く?(陶芸)

坂元和緒

講 評

オリジナリティに富むデザインの陶芸作品です。「陶芸はこのように制作しなければならない」という既存の考えでは思いつかない発想を評価致しました。



彫刻・工芸部門審査員

筒井 知徳 (3回目)
公益社団法人福岡県美術協会監事

入賞作品

無鑑査

協賛賞

延岡市議会議長賞

横田京子

華(パッチワーク)

中村有子

幾何紋皿「和の刻」(陶芸)

協賛賞

延岡市医師会長賞

川崎えつ子

熨斗目「お祝いの日に」(刺繍)

原辰義

神武天皇お舟出の地にて(美々津の立磐神社)(剪画)

協賛賞

夕刊デイリー新聞社賞

古田瀬里南

群青の彼方へ(染色)

甲斐卓雄

オーストラリアの星(ヘッド&テール)(彫刻)

奨励賞

壱岐陽子

胡蝶蘭(友禅染)

◆ 入選者

関武司
佐藤幸子
高田裕満
上村洋子
西崎隆博
甲斐富士子
高吉照美
谷口加代子
森福子
工藤武人
松田美智子
甲斐富美子
三友良子
松田恵子
石川ハル子
堤和子
黒木千里
森本陽子
高橋ユキミ
今利桜舞

白蜘蛛
掛軸虎
戦争のない世界に
青空と小麦の国(ウクライナ)
旭会館(映画館)
大輪の花を生けたくて
ランラン 森のお散歩バスケット
PEACE ピース
秋のささやき
花器・華道
月の恵
月を想う
星に咲く花
神楽
オリーブの実る頃
銀河のしずく
あかり(はないかだ)
久しぶっじゃが〜(久しぶりねの意味)
野山
着癖

陶芸
ちぎり絵
陶芸
陶芸
ジオラマ
陶芸
陶芸
陶芸
ちぎり絵
陶芸
パッチワーク
パッチワーク
パッチワーク
パッチワーク
パッチワーク
パッチワーク
陶芸
ジオラマ
パッチワーク
彫刻

書道部門

特 選

延岡市長賞

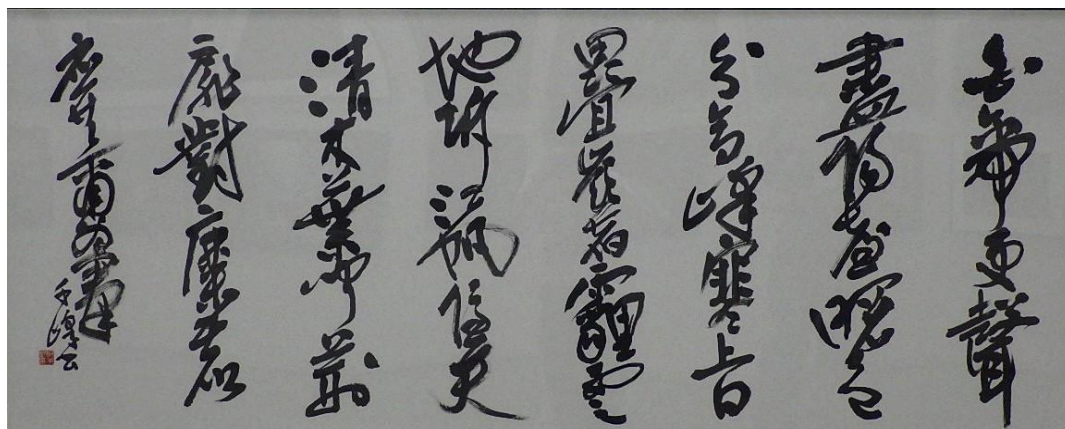
眺望

飯干朗（千峰）

講 評

明時代の王鐸や清時代の呉昌碩の書風を彷彿とさせるリズムカルで充実感あふれる快作。

文字の大小・線の太細の変化が巧妙で余白も実にすばらしい。特に5・6行目の大胆な文字の動きが見事で勢いがある。



準特選

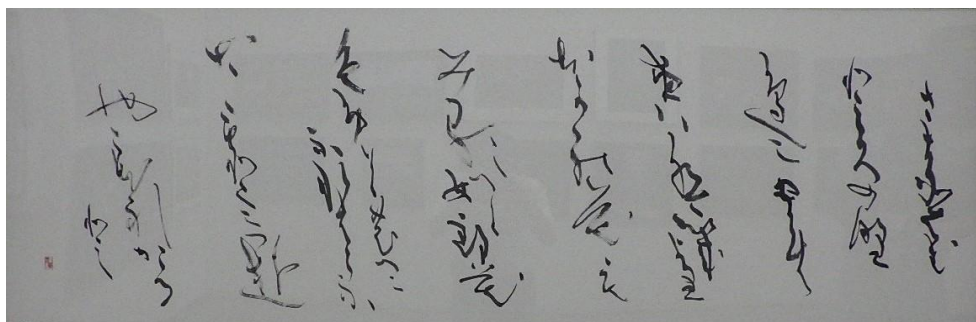
延岡市文化連盟会長賞

咲きそはん 他一首

伊藤由美子（春華）

講 評

流麗な筆致で文字の動きが実に見事である。清時代の許友の書を想起させるような繊細なタッチが心地よい。字形がやや狭い感じもあるが、生き生きとした運筆が巧みな表情を見せ、上品で素敵な作品となっている。



準特選

延岡市教育長賞

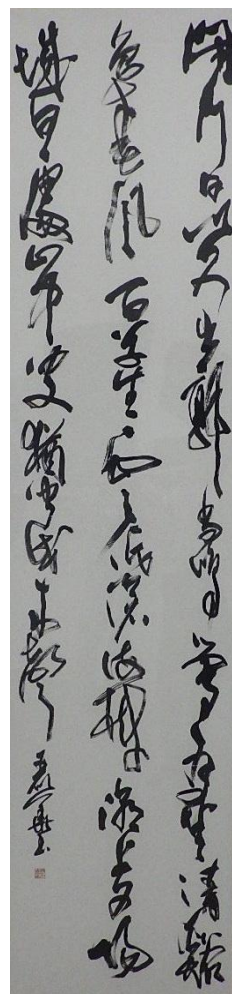
春郊

小野静（麗華）

講 評

胆々とした書きぶりで、文字になんともいえない味わいがある。渋さのある枯淡な秀作。

線の太細・文字の大小・潤滑の変化、それに運筆の緩急の変化も鮮やかで見応えが際立つ。大胆な余白も見事に表出されて



書道部門審査員

松元 碩洲（2回目）
日展会友

入賞作品

無鑑査・招待作家

協賛賞 牛迫孝子(春香) 五言律詩

延岡市議会議長賞

大塚洋子(葉風) 送赴舉

協賛賞 植野洋一(桂石) 謝重輝詩

延岡市医師会長賞

城戸雅子(富翠) 傳山の芸術についての一節を

協賛賞 山本加代(濤香) 感春雜詠 其一

JAみやざき延岡地区本部長賞

山浦秀子(柏秀) 枯櫻

奨励賞 西田幸市(天外) 楷書千字文

原田さゆり(桑峰) 習隱

奨励賞 渡邊康子(翔香) 十六夜翫月

西村亜希子(一華) 濱千鳥

西村寿洋(玄洋) 登錦城散花樓

尾崎真人(宝舟) 禪語

◆ 入選者

松田葉音(聖麟) 送謝恭
西田登美子(美風) 王漁洋詩
興梠ふみ(史翠) ふくからに
小坂千代子(千草) 王漁洋詩
甲斐かおり(香風) 十七夜對月
原田佑香(香陽) 石鼻城
池田文恵(恵翠) 湖樓玩雪
山田祥子(祥香) 田園雜興十二絶
岡村公子(瑛翠) 杜少陵詩
中田由美子(聖泉) 王維詩
上杉秀子(秀香) 老馬
時任愛菜 臨傳山 自書五言律詩
平野優子(佳芳) 八月十五夜の月 二首
丹波のり恵(瑤翠) 從驛次草堂復至東屯茅屋 二首
田口智子(春汀) かささぎの
篠原和子(和葉) 理髮美人
熊谷菜穂子(芳苑) 吳江客中冬至日

岡田雅子(桃紅) 張猛龍碑臨
城戸裕行(鳳翔) 竹香邀游天橋灣

写真部門

特 選

延岡市長賞

まだまだ現役

松尾香代子

講評

モデルのおばあちゃんの笑顔が秀逸です。これまでの人生、いろいろあったでしょう。でもこの笑顔がすべてを超越して、今を楽しく過ごしていますというスタンスが伝わってきます。背景も生活環境が分かり効果的です。

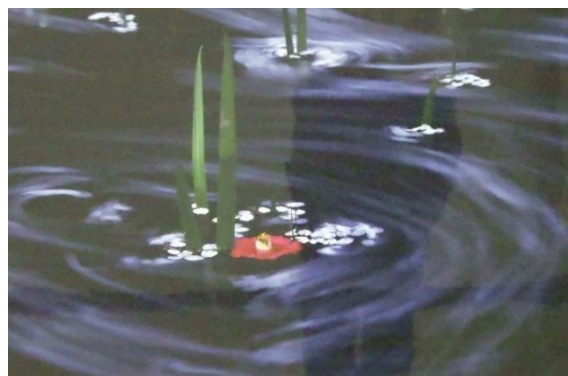


準特選

宮崎県教育長賞

花いかだ

山田悦子



講 水面のブルーが美しく、その中で桜の花
評 びらの動きを表現して一幅の絵となっています。撮影時から仕上げのイメージができていたのではと思います。

準特選

延岡市文化連盟会長賞

幽谷 一瞬の美

川端章



講 渓谷の雄大さを見事に表現されています。
評 す。流れる水のシャッタースピードも適切で、虹そして奥の緑、涼しさが伝わってきます。



写真部門審査員

徳永 美奈子（初）
二科会写真部会員

入賞作品

準特選

延岡市文化連盟会長賞

繋ぐ

植野浩人



講評

赤ちゃん誕生で愛しくてたまらない女性二人、ベビーサークルの柵も気にならず見つめています。すくすく育ちますようにと祈りを込めて。
幸せいっぱい一枚でした。

入賞作品

無鑑査

協賛賞

甲斐啓一

水辺のファンタジー

旭化成（株）延岡支社長賞

甲斐靖一

寒月の青き光の中

協賛賞

亀居英幸

妖精のひと休み

延岡商工会議所会頭賞

協賛賞

福良千鶴子

土と生きる

延岡市歯科医師会長賞

協賛賞

芥美奈子

水面に息づく春

延岡観光協会賞

協賛賞

平林康

百物語の窓

ケーブルメディアワイワイ賞

協賛賞

宮崎金男

ひょっとこ

延岡市美展運営委員長賞

奨励賞

後藤純子

みつめる

奨励賞

伊東英一

アイドル

全国から集うアートの輪



◆ 入選者

小林隆洋	翠のささやき
前田徳子	幻想の一時
大津由吏江	杜に咲く光の舞
武田佐和子	武神の舞
澤由美子	初夏の利尻山
大山久雄	爽快！レインボー・ラン
後藤雅之	木枯らしの中で
長友道生	畑アート
笹尾健助	渚の名画・樹(砂紋)
胡元一夫	朝の漁港
松木喜美子	出番前
外山峯子	早乙女とご神馬
大川内かつ子	黄金の棚田
亀居妙子	早乙女の微笑
村上保予	光彩の中で
宇都宮一公	光降る杜
押方徹	豊穣への歓喜
古谷信行	夜桜街道
吉岡憲生	炎
甲斐桃華	ぼくも田植えのお手伝い
笠村陽一	沈黙の速度
千葉雄一	氷瀑
中田由美子	明け行く空には・・・
島田眞由美	生生流転
福川原敏憲	待ちわびた春
岩谷直子	マミーの故郷
菊池貢	冬晴れ
堀田宗範	夜の河津桜を独占
年森徹	天と地
濱田兆章	静寂
家森忠雄	御神幸行列
酒井佳紀	天の川満ちる夜
多田綾子	雛の想い
佐藤孝夫	ウルフムーンと不思議な雲
富山隆志	陽輪の刻
雀ヶ野秀憲	緑陰
小松清春	溪流の光芒
白谷俊一	星降る廢墟

デザイン部門
特選
延岡市長賞



千里の道も努力から(グラフィックデザイン)

深田琉夏

講評 「千里の路をのそのそかめさん・・・」はストレートに可愛い。うさぎもかめさんも応援団の猿さん？も皆ほっぺに赤くお化粧していてそれぞれの表情は愛すべし。「のそのそ・・・」であっても継続は力なりで最後は勝利するぞ！の決意表明。余裕で楽勝気分のうさぎさんを追い抜いて、辛くて長い人生、合格するぞ！と濁りなく明るく表現。

入賞作品

無鑑査

奨励賞

高橋博和

地球を守ろう(グラフィックデザイン)

木田 柊子

語部(グラフィックデザイン)

奨励賞

緒方華菜

言葉がなくても伝わる気持ち(グラフィックデザイン)

◆ 入選者

片伯部茜
椎葉朱里
岸井丈
賤前洋子
中原さら
林田薫果

見えない加害者(グラフィックデザイン)
Livelihood(グラフィックデザイン)
きのこと深海(グラフィックデザイン)
人の道徳「天」(コラージュ)
Hallucination? ニセモノ?(グラフィックデザイン)
AIの仰せのままに(グラフィックデザイン)

吉田葵

Be yourself(イラストレーション)



デザイン部門審査員

小寺 尚 (5回目)
宮崎大学名誉教授

審査講評
【絵画部門】

講評

40数年前高千穂高校に美術教師として勤務していた頃、延岡市美術展に生徒と一緒に出品し入選、入賞すると大喜びして今度は県美術展やその他の公募展を目指そうと努力したものでした。そのような私の原点とも言うべき延岡市美術展に携われたことを光栄に思って審査しました。

審査会場に並べられている作品を見て感じたことは他の公募展に遜色ないレベルの高さと、多様な年代の方々が熱心に油絵や水彩画、日本画、パステル画等に取り組み出品されていることに感動を覚えました。多くの作品の中から限られた数の入選・入賞作を絞り込むことの難しさを感じて選考しました。

特選・外山範雄さんの「望郷恋母」(宇目の唄げんかより)は郷土に伝わる子守唄を題材に人物の動きや表情を丹念に描き上げ歌が聞こえてきそうなレベルの高い作品です。

準特選・雉子谷佳宏さんの「Ant room」はどこの風景だろうか？何気ない田園風景を抑えた色調で俯瞰して描き、空中にいるような錯覚を覚えさせる描写力のある作品になっています。手前の描き込みを工夫してほしい。

準特選・杉野祐一さんの「狭間」は中央部分に人物を周りには植物を組み合わせて描いた構成力の高い力作である。落ち着いた色彩で描かれているが、明度差がもう少しあっても良いのではないだろうか。

入賞には漏れたがアーナー恵子さん、杉野節代さんの作品は印象に残りました。多くの60代70代の他に80代の高齢者の出品者が力作を出品され嬉しく思いました。一方20代30代が少なかったのは寂しいことでした。以前のように高校生や若い世代が出品してくれることを願っています。作品はアトリエでなくても小さな部屋でも描けます。延岡以外の町でも描いて出品できます。

絵画部門審査員

橋本 俊雄 (初)
二紀会委員、宮日美術展無鑑査



審査講評
【彫刻・工芸部門】

講評

この度は展覧会に力作をご出品頂きありがとうございました。並びに主催された関係者の皆様方本当にご苦勞様でした。伝統ある本美術展を4年ぶりに審査させて頂きました。

彫刻・工芸の分野は使用素材、表現技法が多岐に亘っており、一点一点ずつ慎重に確認を行ないながらも審査には大変苦慮いたしました。

一般的に制作においては最初に素材を選びそれら加工して作品とするのですが、最も問題となるのが作品自体のオリジナリティです。様々な情報があふれ、表現技法も簡単に手に入れることができる現代において作品自体どのような思いで作られたのかという「表現意図」は非常に重要な問題です。まずは以上のことを念頭に置いて選考を行ないました。以下入賞作品講評とします。

特選 延岡市長賞 「糸と針で布を彩る刺しゅうの世界」

普通に見る刺繍とは特段に異質なオリジナリティ、技術、繊細さを感じました。衣服などに施す刺繍とは異なり鑑賞作品として完全に独立した表現となっております。

準特選 延岡市教育長賞 「母子」

シルバー(銀)部材を蝋付けし、石をはめ込んだジュエリーです。確かな素材選別と加工技術が目を引きました。実際に身に付けて楽しめる秀逸な作品です。

準特選 延岡市文化連盟会長賞 「だれから咲く？」

オリジナリティに富むデザインの陶芸作品です。「陶芸はこのように制作しなければならない」という既存の考えでは思いつかない発想を評価致しました。

その他の受賞作品も大変素晴らしく旺盛な制作欲が作品に現れていました。本展覧会の今後の益々のご発展を祈念し結びといたします

彫刻・工芸部門審査員

筒井 知徳(3回目)
公益社団法人福岡県美術協会監事



審査講評
【書道部門】

講評

昨年に引き続き、今回二度目の審査を担当させていただき誠に光栄なことでした。

作品の傾向としては、昨年と大きな変化はありませんでしたが、充実感のあるレベルアップした作品が多かったように感じました。ただ、大半が行草書で楷書・篆書が数点、隸書と調和体作品は1点もありませんでした。出来れば、多種多様な作品の出品を望みたいと思います。

審査にあたっては、今回も書作品としての要素を充分発揮し、技法的にも秀でたものを選定しました。文字の大小・線の太細・潤滑の変化は言うまでもなく、作品としての魅力があるかどうか、一見してインパクトのある作品に注目したつもりです。

特選「暁望」飯干朗(千峰)

明時代の王鐸や清時代の呉昌碩の書風を彷彿とさせるリズムカルで充実感あふれる快作。

文字の大小・線の太細の変化が巧妙で余白も実にすばらしい。特に5・6行目の大胆な文字の動きが見事で勢いがある。

準特選「春郊」小野静(麗華)

流麗な筆致で文字の動きが実に見事である。清時代の許友の書を想起させるような繊細なタッチが心地よい。字形がやや狭い感じもあるが、生き生きとした運筆が巧みな表情を見せ、上品で素敵な作品となっている。

準特選「咲きそはん 他一首」伊藤由美子(春華)

胆々とした書きぶりで、文字になんともいえない味わいがある。渋さのある枯淡な秀作。

線の太細・文字の大小・潤滑の変化、それに運筆の緩急の変化も鮮やかで見応えが際立つ。大胆な余白も見事に表出されている。

書道部門審査員

松元 碩洲(2回目)
日展会友



審査講評
【写真部門】

講評

この度は延岡市美展の審査でどんな作品に出合えるのかと楽しみに参りました。

昨今は写真がデータで完成する時代となりつつありますが、このような美術展覧会ではプリント仕上げとなり、プリント技術が重要な課題となります。

ご自身が心から「いいな」と思われた瞬間にシャッターを押しましょう、そして何よりも楽しみながら作品作りをしましょう。

主題が明確で光と空気感を残すプリントを心がけましょう。何を見せたいのか主役を意識して、心を写すのです。

光も景色も時間も場所も全て与えられています。その中で何ができるのか考えて撮る。それが写真という行為だと思います。撮影後は人にも、風景にもありがとうをいいます。

特選 延岡市長賞「まだまだ現役」松尾香代子

モデルのおばあちゃんの笑顔が秀逸です。これまでの人生、いろいろあったでしょう。でもこの笑顔がすべてを超越して、今を楽しく過ごしていますというスタンスが伝わってきます。背景も生活環境が分かり効果的です。

準特選 宮崎県教育長賞「花いかだ」山田悦子

水面のブルーが美しく、その中で桜の花びらの動きを表現して一幅の絵となっています。撮影時から仕上げのイメージができていたのではと思います。

準特選 延岡市文化連盟会長賞「幽谷 一瞬の美」川端章

溪谷の雄大さを見事に表現されています。流れる水のシャッタースピードも適切で、虹そして奥の緑、涼しさが伝わってきます。

準特選 延岡市文化連盟会長賞「繋ぐ」植野浩人

赤ちゃん誕生で愛しくてたまらない女性二人、ベビーサークルの枠も気にならず見つめています。すくすく育ちますようにと祈りを込めて。幸せいっぱいの一枚でした。



写真部門審査員

徳永 美奈子（初）
二科会写真部会員

審査講評
【デザイン部門】

講評

初め一通り観て特に印象に残るものは少ないのかな、と感じたのは私の大間違いでした。個々の作品をじっくり観て廻るうちに、それぞれが素晴らしい制作であることに気づかされました。

「SAVE THE EARTH」象に着目しその特徴である鼻を画面上から下まですごい迫力で表現し観るものを惹きつけて離さない。そして光る眼にも驚かされる。広大なアフリカであっても「もうここにしか象はいません」「地球を守ろう」との訴えだ。作者の62歳の方はなんと実際にアフリカまで行ってきた、と審査後の講評会でこともなげに打ち明けていた。そしてまた、象は動物園にいるような灰色ではなく、描かれているような凄みのある色であるとも教えられた。作品にかける強烈な創作意欲に脱帽！

女子高生の「千里の路をのそのそかめさん・・・」はストレートに可愛い。うさぎもかめさんも応援団の猿さん？も皆ほっぺに赤くお化粧していてそれぞれの表情は愛すべし。「のそのそ・・・」であっても継続は力なりで最後は勝利するぞ！の決意表明。余裕で楽勝気分のうさぎさんを追い抜いて、辛くて長い人生、合格するぞ！と濁りなく明るく表現。

社会的な問題を提起する作品もあった。手話を理解できる人々が増えれば、耳の聞こえない人たちとのコミュニケーションも楽になるし役立つ。単に手の形だけでなく赤い矢印で手の動きも分かるように工夫している。3色だけの色使いで明るく強いメッセージがある。Instagram被害にフォーカスした作品も注目される。現代のいわゆる「陰口」いじめである。誰がやっているか分からないのをいいことにした「匿名・流動型」犯罪の一種。入賞作品に引けをとらない。

審査させていただく場合一番困難な問題として、進化しつつある人工知能「AI」を駆使した作品の評価がある。絵画や写真も同様。時間や労力を使わず制作できるのは恐ろしく利点。ただしAIを使いこなすためには、十分に厳格にイメージを指示できなくては始まらない。安易に制作を代行してくれないのが「AI」。ちなみにAIで創ったかどうかは逆を使えば60%?90%の確率ですぐ見破れる。

デザイン部門審査員

小寺 尚（5回目）
宮崎大学名誉教授



■第75回延岡市美術展覧会 出品状況

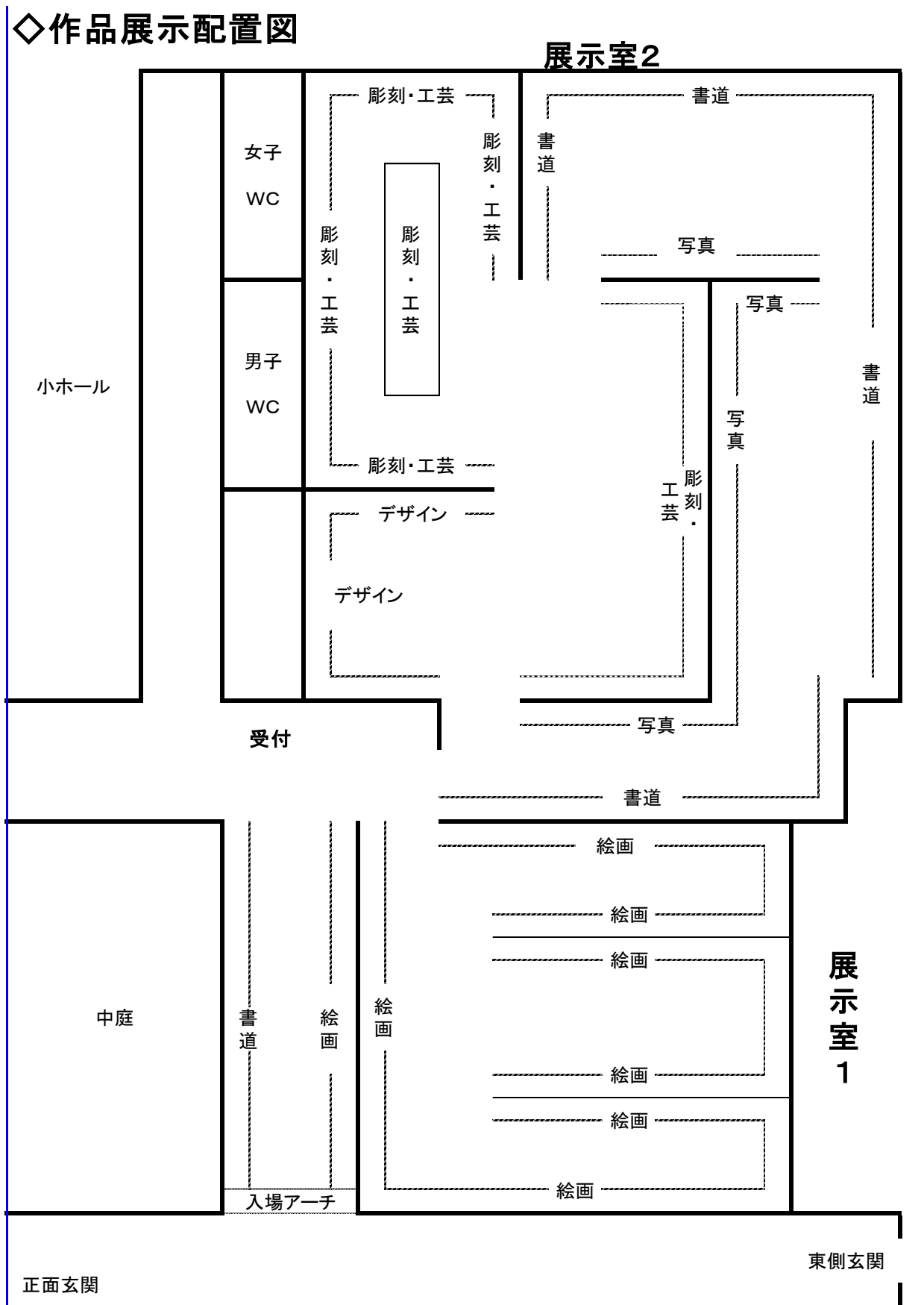
部 門	出品者数			出品作品数			C 招待作家 無鑑査	出品数	合計 (無鑑査等含む)		展示作品数	
	A	うち2点 出品者	うち3点 出品者	一般	学生	B 小計			出品者数 A+C	作品数 B+C*	入賞 +入選数	無鑑査等を 加えた展示数
絵 画	57 人	12 人	1 人	66 点	5 点	71 点	4 人	4 点	61 人	75 点	43 点	47 点
彫刻 工芸	36 人	4 人	0 人	36 点	4 点	40 点	3 人	3 点	39 人	43 点	27 点	30 点
デザイン	13 人	0 人	0 人	6 点	7 点	13 点	1 人	1 点	14 人	14 点	10 点	11 点
書 道	36 人	0 人	0 人	34 点	2 点	36 点	7 人	7 点	43 人	43 点	27 点	34 点
写 真	66 人	29 人	3 人	101 点	0 点	101 点	1 人	1 点	67 人	102 点	50 点	51 点
合 計	208 人	45 人	4 人	243 点	18 点	261 点	16 人	16 点	224 人	277 点	157 点	173 点

- ◆招待作家 全国規模の公募展で、顕著な成績を残された方
- ◆無 鑑 査 延岡市美術展覧会の第25回展（改組第1回：昭和50年度）から
起算して、「特選」（延岡市長賞）および、周年記念の大賞、
特別賞を通算3回受賞された方

■第75回延岡市美術展覧会 賞の名称一覧

特 選	延岡市長賞
準特選	宮崎県知事賞 宮崎県教育長賞 延岡市教育長賞 延岡市文化連盟会長賞
協賛賞	延岡市議会議長賞 旭化成(株)延岡支社長賞 ケーブルメディアワイワイ賞 センコー(株)延岡支店長賞 延岡観光協会賞 延岡市医師会長賞 延岡市歯科医師会長賞 延岡商工会議所会頭賞 延岡市西臼杵郡薬剤師会長賞 JAみやざき延岡地区本部長賞 宮崎日日新聞社賞 夕刊デイリー新聞社賞 延岡市美展運営委員長賞 (順不同)
奨励賞	※本市美展または他の美術展等での入賞歴は問いません。 ※うち1本は満80歳以上の方を対象とし、入賞歴は問いません。

◇作品展示配置図



■審査講評のようす 7月12日(日)13:00～



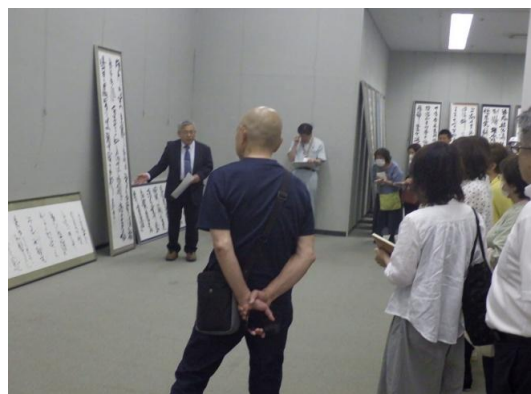
絵画部門



彫刻・工芸部門



デザイン部門



書道部門



写真部門

出品者のみなさまへ
この度はご出品いただきありがとうございました。
次回も力作のご出品を心よりお待ちしております。

延岡市美術展覧会運営委員会 一同

第75回延岡市美術展覧会審査員プロフィール

部 門	審 査 員	プ ロ フ ィ ー ル
絵 画	はし 橋 もと とし お 本 俊 雄	二紀会委員、宮日美術展無鑑査 1992年 青木繁記念大賞展特別賞 受賞 1993年 安井賞展入選(～1994、1995、1997)、二紀展安田火災美術財団奨励賞受賞 (～会員優賞[2002年]、栗原賞[2014年]) 1995年 安田火災美術財団奨励展 優秀賞(1席)受賞 1998年 宮崎県美術海外留学賞(渡仏) 2004年 小磯良平大賞展入選(～2010)、宮崎県文化賞受賞 2010年 二紀会委員推挙
彫刻・工芸	つつ い とも のり 筒 井 知 徳	公益社団法人福岡県美術協会監事 1991年～2026年 福岡市美術展審査6回、福岡県展審査5回のほか、 九州芸文館トリエンナーレ審査委員長を務める 1992年・1996年 第1回・第2回花のすみか大賞展[読売新聞社賞]受賞 1997年・2000年 第4回・第5回アジア現代彫刻展[佳作]受賞 2007年・2020年 新しい金工の美 選抜展・輝けるメタルアート選抜展(東京千住美術館) 2016年～ 九州産業大学造形短期大学部特任教授 工芸実習/美術概論 担当 その他、各地で講演や芸術関係での解説事業を行う。
デザイン	こ 寺 しょう 小 尚	宮崎大学名誉教授 美術文化展、日宣美展、京都産業デザイン展等入選・入賞 1966年 宮崎大学教育学部助手 1980年 日本グラフィックデザイナーズ協会理事就任 1987年 宮崎大学教育学部教授就任 2008年 宮崎大学名誉教授就任
書 道	まつ もと せき しゅう 松 元 碩 洲	日展会友 1972年 大東文化大学入学 ・ 青山杉雨(日本芸術員会員・文化勲章受章)に師事 1976年 大東文化大学卒業 ・ 二玄社(書道編集部)入社 1984年 日展初入選(以降10回入選) 1994年 謙慎書道会展第一回青山賞受賞 1994年 読売書法展読売新聞社賞受賞 1997年 南日本書道展南日本新聞社賞受賞 2003年 寄鶴文社書展寄鶴文社賞受賞 2013年 南日本書道展委嘱作家賞受賞
写 真	とく なが み な こ 徳 永 美 奈 子	二科会写真部会員 2002年 一般社団法人二科会写真部会員になる。 2004年～2009年 福岡支部 支部長就任 2012年～2022年 本部理事就任 2019年～2022年 公益社団法人福岡県美術協会 委員 2017年～2026年 西日本新聞社・西日本写真協会 委員



第75回延岡市美術展覧会

会 期 : 令和8年7月25日(土)～8月8日(土) 10:00～16:00
 会 場 : 延岡総合文化センター 展示室1・2 ※毎週火曜は休館日です
 主 催 : 延岡市美術展覧会運営委員会、延岡市、延岡市教育委員会
 共 催 : 延岡市文化連盟
 後 援 : 宮崎県、宮崎県教育委員会、(公財)宮崎県芸術文化協会、宮崎県書道協会、宮崎県高等学校文化連盟
 協 賛 : 延岡市議会、旭化成(株)延岡支社、(株)ケーブルメディアワイワイ、センコー(株)延岡支店
 (一社)延岡観光協会、(一社)延岡市医師会、(一社)延岡市歯科医師会、延岡商工会議所
 (一社)延岡市西臼杵郡薬剤師会、宮崎県農業協同組合延岡地区本部、宮崎日日新聞社
 夕刊デイリー新聞社

(順不同)